

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程 教科(社会) 学級活動 行事
2【かかわる】	【被災地域の小学校との交流】 復興の過程にあり、心的支えと物的支えを必要としている小学校の児童との交流を通して、復興支援の意識を高める。	

【題材】

大沢小学校との相互交流 「つながろう大沢・北厨」

【対象】

本校児童、大沢小学校児童

【実践の概要・詳細】

<大沢小学校4年生との交流>

1 ねらい

震災による被害を乗り越え、10年後、20年後の未来を担う児童を育てるために

(1) 被災地児童との交流を通して、他者を思いやる心を育てるとともに、人としてのあり方や自らの生き方を考えさせる。

(2) 児童会を中心に取り組んできたベルマーク活動と合わせ、両校が顔を合わせて交流することによって、互いの学校生活における努力等を認め合うとともに、ともに元輝が出るような活動が共有できることに気づかせる。

2 日 時 平成26年9月12日(金)

3 交流場所 盛岡市立北厨川小学校 体育館等

4 交通手段 貸し切りバス1台(大沢小学校発着)

5 対象学年 北厨川小学校 4年生 55名
大沢小学校 4年生 9名

6 主な内容

大沢小学校4年生を全校で迎えるとともに、4年生同士で給食をともにしたり、レクリエーションをしたりして、親しみを深めた。

7 当日の日程

1 1:55 全校児童、玄関前に整列してお出迎え

1 2:00 北厨川小学校着 「歓迎会」

はじめの言葉

児童会歓迎の言葉 児童会代表

大沢小学校代表の言葉

☆昨年送った「大綱」と「キャンドル」がどのように活用されているか、報告があり、感謝の意が伝えられた。

4年生あいさつ

1 2:15 交流給食(紹介し合ったり、学校の様子を話したりして、親交を深めた。)

1 3:10 交流レク(体育館で楽しくゲームをした。)

1 3:50 4年生児童がお見送り

1 4:00 大沢小出発



歓迎会の様子



交流給食



レクの様子

<大沢小学校訪問・交流>

- 1 ねらい
 <大沢小学校4年生との交流>と同じ
- 2 日 時 平成26年11月14日(金)
- 3 交流場所 山田町立大沢小学校
- 4 交通手段 貸し切りバス2台(本校発着)
- 5 対象学年 北厨川小学校 6年生 62名
 大沢小学校 全校児童 86名

6 主な内容
 大沢小学校を訪問し、復興への励ましの気持ちを伝えたり、大沢の子供たちとの交流を深めるとともに、山田町を中心に復興の様子を見学し、これからの復興支援でどんな取り組みをしたらよいか考える契機にする。

7 当日の日程

10:00 大沢小学校着～交流

○本校児童は、組み体操「復興、そして未来へ」を披露し、テレビと手作りのキャンドルを贈呈した。
 ○昨年度寄贈の「大綱」を使って、両校児童の混成チームで綱引きを行い、力を合わせて競技し、大いにたのしみ、親交を深めた。

- 11:00 大沢小学校発
 ※被災地の復興の様子を車中より見学
- 11:45 船越小学校着
 用務員さんより当日の避難のお話を聞く
 校内見学(校舎移転の経緯等)
- 13:00 船越小学校発



組み体操を披露



一緒に歓喜

まとめ

大沢小学校との交流が3年目ということで、これまで積み上げてきたことを生かした活動になった。

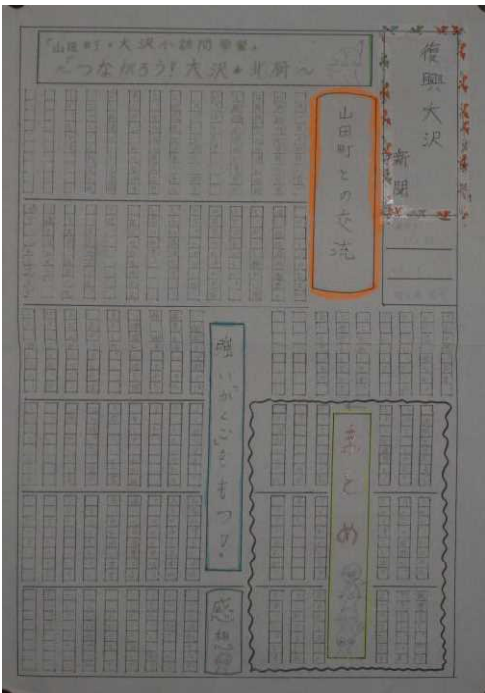
来校した大沢小学校4年生は、昨年贈ったキャンドルが野外活動で大切な役割を果たしたり、防災用品として児童の家庭で大切にされていることを伝えてくれた。それを聞いた4年生は、自分たちが訪問する時に何ができるか、考え始めている。

大沢小学校の希望で、贈った大綱で綱引きをすることになっていた6年生は訪問を楽しみにしていた。

2年前に再会を約束していたこともあり、披露した組み体操に力が入っていた。加えて、ベルマーク運動への取り組みもあり、支援の気持ちを強めていたので、今年も手作りのキャンドルを用意した。

実際に交流するのは大沢小学校児童に限られるが、復興の様子を目の当たりにしたこともあり、山田町へと視野を広げて考える者が増えてきている。

強い「かくご」をもつ!と「復興新聞大沢」にまとめた児童に、復興教育の成果の一つが表れていると捉えている。



「復興大沢新聞」